

# 神戸女学院大学 人間科学部 心理・行動科学科 精神保健福祉士養成課程 ニュースレター

第1号

## 2022年度 精神保健福祉士 養成課程 スタートしました！

コロナ禍で3年目の春を迎えました。

今年度も精神保健福祉士を志す3・4回生の活動をメインに広報いたします。今回は各学年の授業風景をお伝えします。

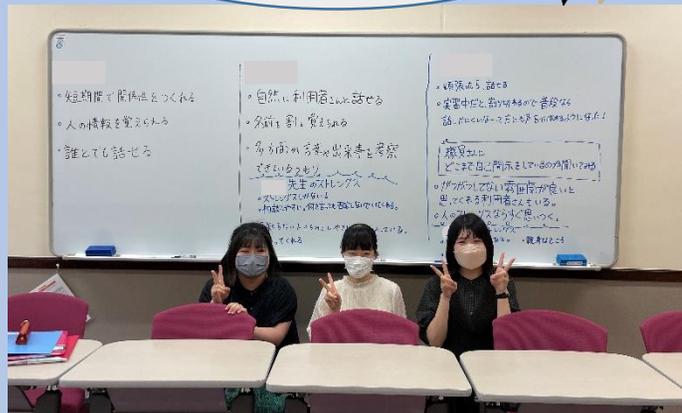
**4回生の実習指導Ⅱ**では、実際に地域事業所での実習が始まる前に、3回生の時に作成した実習計画書も参考にしながら、各自の短期目標を設定し共有したり、障害福祉サービスについて学び直しました。今年度は3名ともが同時期に実習を開始できたため、クラスメイトの工夫している点や実習指導者の方に教えていただいた内容を共有・意見交換するなど毎週90分授業があつという間に過ぎていきます。

ある日の授業では、地域事業所での実習体験を通して、自分自身が気づいたり、利用者の方や実習指導者の方に評価いただいた自分の長所について考え、共有しました。

先生より課題を告げられホワイトボード前に立つも「難しい...」「相手のことはたくさん出てくるのに...」「実習中、そのように評価してもらえる機会があり、新たな長所に気づくことができた」等、各自のペースで書き進めていきました。

精神保健福祉士の倫理綱領を基盤に、それぞれの体験をしっかりと各自で振り返り・考察する歩みをこれからも大切に続けてほしいと思います。

昨年まで遠隔化の授業が多かった4回生。直接顔を見て、雰囲気を感じながら受けられる授業のありがたさを再認識できた、との声も★



**3回生の援助演習(基礎)**は、2クラスに分かれて開講しています。

ある日の授業では、SSTについて学びました。SSTとは、Social Skills Training(生活技能訓練)の略です。自分の“考え”、“気持ち”、“要件”を上手く伝えるための【スキル】を学び、社会的ストレス(生活上の困難)に対処する力を向上させ、再発防止や回復の一步になることを目的に行われます。精神科病院だけでなく、就労関係の事業所でも行われることがあります。

事前にSSTのロールプレイとして各自で取り組みたい課題を2つ挙げました。リーダー、コリーダー、相手役など課題ごとに役割を交代しながら取り組みます。

ある課題では、アルバイト中の困った場面について取り組みました。課題を挙げた学生が、ロールプレイでも本人役として参加します。相手役を決め、実際の場面で行われた会話のやり取りをします。場面を見終わった後に、全員で良い点を褒めます。そして、各自でさらに良くするための提案を挙げます。課題を挙げた学生が、どの提案を活用しながらロールプレイを行いたいのか決め、再度ロールプレイを行います。そして良いところを褒め、同様の機会があれば実践してみるよう宿題を設定するところまで行いました。

最初は照れながら取り組んでいましたが、ロールプレイを重ねるごとに真摯な表情で良い点・改善点を挙げる姿が印象的でした。



- ・後期は3回生が学外実習、4回生は実習報告会を控えています。
- ・心理・行動科学科 1・2回生の方で、精神保健福祉士を目指したい方は、9月9日(金)実施の後期登録ガイダンスにご参加ください。(養成課程の教員より資格に関する説明を行います)